



【新幹線定期報告】

令和3年8月17日
新幹線事業対策室

1. 概況 (西九州新幹線(長崎～武雄温泉)の進捗)

令和3年6月末時点での工事進捗および用地進捗状況は下記のとおりとなっている。

○工事進捗状況(長崎～武雄温泉) (R3.7月末時点)

区分	進捗状況		
土木工事	工事延長 67.0km (長崎県 49.2km、佐賀県 17.8km) ・本線土木工事は、R2.9.23をもって完成率が100%となった ・土木の付帯工事は、引続き実施中 ・長崎県内の主要な土木工事 40 工事中 33 工事が竣工 (R3.8.16 時点) ※残り 7 工事は令和4年5月頃までに竣工予定		
建築工事	駅舎工事	新大村駅	一部の工事を残しほぼ完成 (令和4年3月頃に竣工予定)
		諫早駅	一部の工事を残しほぼ完成 (令和4年3月頃に竣工予定)
		長崎駅	外観がほぼ完成し、内装などを施工中 (令和4年3月頃まで工事がかかる見込み)
軌道工事	レール敷設はルート全体で約61km、約93%が完了 長崎県内では約44km、約89%が完了 (東彼杵町・大村市・長崎市内はレール敷設完了、諫早市内で順次レール敷設中) ※脱線防止ガードの設置を除き、レール敷設は令和4年3月頃までに完了予定		
電気工事	電車にパンタグラフを通して電気を供給する架線(トロリ線)や、行先や発車時刻などの情報を表示する案内表示装置(発車標)、駅構内の無線・監視カメラなどを施工中 (ルート全体の電気工事進捗率は約78%) 大村車両基地の変電設備が国の完成検査に合格したため、今後、電気を流すための試験が行われる予定 ※各電気工事は令和4年8月頃までに竣工予定		
機械工事	駅舎のエスカレーター・エレベーター工事が概ね完了 長崎県内3駅の可動式ホーム柵を製作中 未着手である各駅の出改札機は、秋頃から製作を開始し設置予定 ※各機械工事(大村車両基地を除く)は令和4年3月頃までに竣工予定		
大村車両基地	造成工事が完了しており、基地内の建物の建築工事を実施中 レール敷設工事や電気工事(屋内外照明設備や構内放送設備など)、機械工事も順次実施中 ※各種工事は令和4年9月頃までに竣工予定		

※竣工予定時期は、鉄道・運輸機構への聞き取り、またはとりまとめ時点での契約工期の工期末月を示したものであり、今後変更の可能性がある。

※鉄道・運輸機構からの情報をもとに、当室にて整理したものである。

※土木工事の完成については、トンネルは覆工完了、高架橋・橋りょうはスラブコンクリート完了、路盤は施工基面完了をもって、完成と整理されている。

※電気工事の完成率は、設備の設置が完了した率を示しているが、最終的には諸試験の合格をもって、工事完了となる
 ※前回からの更新箇所を朱書きとしている。

○用地取得実績（長崎県内）（R3.7月末時点）

長崎県全体	東彼杵町	大村市	諫早市	長崎市	全体
取得予定面積 (地上権設定含む)	7.7 ha	33.9 ha	18.9 ha	10.3 ha	70.8 ha
取得済面積 (地上権設定含む)	7.7 ha	33.7 ha	18.9 ha	10.1 ha	70.4 ha
進捗率	100%	99%	100%	98%	99%

※鉄道・運輸機構からの情報をもとに、当室にて整理したものであり、四捨五入により計が合わない場合がある。
 ※買収予定面積は、用地丈量、設計、協議の進捗に伴い変更を行う。
 ※前回からの更新箇所を朱書きとしている。

2. 入札公告・結果

令和3年7月16日から8月16日までに、工事1件（長崎県1件）、委託3件（長崎県1件、両県にまたがるもの2件）の入札公告が行われた。また、委託2件の入札が行われた。

入札公告が行われた長崎県に係る工事は、以下のとおり。

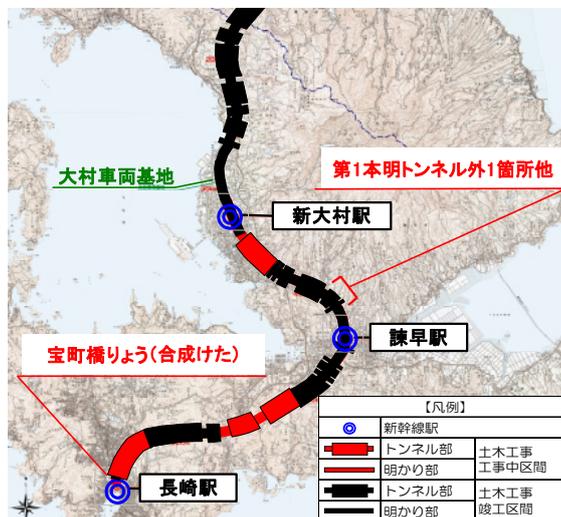
<入札公告>

- 工 事 名：九州新幹線（西九州）、33k8・44k1 間高架下整備他
- ・公 告 日：R3.8.6 ・入札予定日：R3.9.17
- ・工 期：12 箇月 ・工事場所：大村市・諫早市
- ・工事概要：33 km799m～44 km057m（延長 10,258m）間の分水柵工、排水構造物工、用地諸設備、用地諸標工、道水路付替工、監査・検査補助業務等を行う工事。（営業線近接作業を除く）

3. 工事の竣工

長崎市内において、平成28年3月8日より進められていた「宝町橋りょう（合成けた）」工事（受注者：宮地エンジニアリング）が、令和3年7月10日に竣工した。

また、諫早市内において、平成24年3月15日より進められていた「第1本明トンネル外1箇所他」工事（受注者：西松・若築・黒瀬JV）が、令和3年7月30日に竣工した。



位置図

「宝町橋りょう（合成けた）」工事では、工事長 152m 間で、長崎市宝町バス停付近の国道 202 号をまたぐ延長 82m の宝町架道橋と、交通局駐車場の上空を横切る延長 70m の宝町高架橋の製作・運搬・架設が行われた。

※合成（ごうせい）けたとは、異なる材料を組み合わせ、それらをずれ止めにより一体化させた構造の橋桁をいい、この工事では、箱状の鋼製の橋桁とその上に乗る鉄筋コンクリートの床版（しょうばん）の組み合わせとなる。



完成した宝町橋りょう



完成した宝町架道橋

この 2 つの橋りょうは、施工場所が市街地のため、橋桁の架設に大型のクレーンを使用することが出来なかった。そのため、工場で製作した橋桁を、輸送できるサイズに分割して現地に運び、既に完成していた長崎駅側の高架橋の上で組み立てを行ったのち、手延べ機という仮設材を用いた「送り出し工法」にて、国道 202 号を夜間通行止めしたなか、架設が行われた。



宝町橋りょうの架設状況

なお、より詳しい内容は、『「宝町橋りょう（合成けた）」工事が竣工しました（令和 3 年 7 月 10 日）』に掲載していますので、ぜひご覧ください。

< <https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/machidukuri/doro-kotsu/news-j/new-s/> >
 （長崎県ホームページ：ホーム>組織で探す>新幹線事業対策室>新着ニュース>工事の進捗）

国道の上空に現れた巨大な橋りょうも、架設から 1 年以上経過し見慣れた方も多いと思いますが、架線柱が建ち今後架線が張られていくと、さらに開業が近づいていることが実感されそうです。

また、「第1本明トンネル外1箇所他」工事では、工事長1,701m間で、延長790mの第1本明トンネルと延長310mの第2本明トンネルの2本のトンネルを始め、橋りょう（橋台4基、橋脚9基、橋桁3本）や、高架橋、擁壁などの構造物の施工が行われた。



完成した第1本明トンネル武雄側坑口付近



完成した第1本明トンネルと第2本明トンネルの間



完成した第2本明トンネル（長崎側坑口）

これらの工事の竣工により、長崎県内の主要な土木工事40工事のうち33工事が竣工した。

4. 車両デザインの決定

西九州新幹線で使用される車両「かもめ」のデザインが決定したと、令和3年7月28日JR九州が発表した。



エクステリアデザイン

- ・JR九州のコーポレートカラーである赤を配色し、シンボルマークやロゴを配置
- ・毛筆の「かもめ」の書体をエクステリアデザインとして配置

シンボルマーク

愛称名

